

# 第36回 JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会水球競技 諸注意

## <競技方法>

1. 試合形式は下記のとおりとする。
  - ①A区分…予選リーグ（4ブロック）を行い、勝ち点制とし、勝ち3点、負け0点、引き分け1点とし、勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点が同点の場合は、当該チーム同士の①勝ち点②得失点差③総得点、次に対象チーム以外の最高順位チームとの④得失点差⑤総得点、それでも順位が決しない場合は次順位のチームに対する⑥得失点差⑦総得点、それでも順位が決しない場合は予選リーグ全体の成績における⑧得失点差⑨総得点⑩PT戦で順位を決定する。ただし、3チーム以上が同勝ち点になった場合で対象チームが2チームに減った時点で①に戻り順位を決定する。棄権は0-20で敗戦とする。予選ブロック上位2チームによる決勝トーナメントを行う。決勝トーナメントで同点の場合はVゴール方式の延長戦を行う。
    - ②B、C、D、E区分…全試合トーナメント戦。同点の場合はVゴール方式の延長戦を行う。  
B・C区分のみ敗者復活戦を行う。  
※全区分とも延長戦を行う場合は2分間の休憩の後行う。  
※A区分の予選リーグ及びB・C区分の予選と敗者戦は2ピリオドの試合で6点差、4ピリオドの試合で10点差がついた時点でランニングタイムを止めずに競技を行う。点差が縮まっても時計は止めない。
2. 競技時間は下記のとおりとする。
  - ①A区分…正味4分間を1ピリオドとし、2ピリオド行う。ピリオド間に2分間の休憩を設ける。決勝トーナメントは4分間4ピリオドで行う。
  - ②B区分…正味4分間を1ピリオドとし、4ピリオド行う。ピリオド間に2分間の休憩を設ける。決勝トーナメント準々決勝の試合については6分間4ピリオドで行う。
  - ③C区分…正味4分間を1ピリオドとし、2ピリオド行う。ピリオド間に2分間の休憩を設ける。決勝トーナメント準決勝の試合については4分間4ピリオドで行う。
  - ④D区分…正味7分間を1ピリオドとし、4ピリオド行う。ピリオド間に2分間の休憩を設ける。
  - ⑤E区分…正味5分間を1ピリオドとし、4ピリオド行う。ピリオド間に2分間の休憩を設ける。
3. 全区分、2回のタイムアウトを認める。延長戦に入った場合は水球競技規則に則り、1回追加してタイムアウトを取ることができる。
4. 上記の他は、（公財）日本水泳連盟水球競技規則及び一般規則により行う。

※A区分、B区分、C区分は26日から試合を行う。

※B・C区分は1回戦の各試合終了後、決勝トーナメントの組合せ抽選を行う。各試合の勝者チーム代表者は試合終了後、大会本部で抽選を行うこと。敗者戦勝者の組合せは1回戦最終戦終了後に公開抽選を行い決定する。

※全区分とも延長戦を行う場合は2分間の休憩の後行う。延長戦は各区分当該試合の1ピリオド競技時間を上限とし、それでも勝敗が決しない場合はVゴール方式のPT戦とする。

## <グラウンドルール>

1. 帽子はそれぞれのチームで準備すること。原則として、組合せ表の左側のチームが白、右側が青の帽子をかぶるものとする。スタートサイドは白チームが本部席から見て左側とする。ただしルールに従って、チームカラーなどの帽子を着用する場合は、試合開始の30分前までに、対戦するチームが白の帽子を着用することの了承を得た上、本部席に届け出るものとし、さらに帽子と同色のセクレタリー用の旗を用意すること。
2. 招集は、各日第1試合は競技開始10分前、それ以降は前の試合最終ピリオド開始時に行う。ただし、フィールド交換後の試合は前の試合終了後、招集を行う。エントリー表通りの番号の帽子を着用の上、指定された場所へ集合すること。

## <注意事項及び連絡事項>

1. 桟橋の上は審判員以外立入禁止です。絶対に立ち入らないでください。桟橋側のスペースについても危険防止のため立入禁止といたします。
2. 試合開始時刻（招集時刻）に遅れないようにしてください。
3. プールサイド及び更衣室フロアは土足禁止ですので厳守願います。プールサイドは監督、コーチのみ室内履きを認めます。選手は裸足とします。
4. 更衣室は使用できますが、ロッカーは使用できません。荷物を更衣室内に置かないでください。
5. 盗難事件が発生しています。貴重品、荷物は各チームで保管してください。万一、盗難にあっても、主催者及び水泳場では責任を負いかねますのでご注意ください。
6. ゴミは持ち帰ってください。ご協力お願いいたします。
7. プールサイドへの飲食物の持ち込みは禁止です。ただし試合中のインターバル時に水分を補給する場合のみ例外としますが、商標などの広告媒体となるラベルは取り除いて下さい。
8. ウォーミングアップは、下記の注意事項にしたがってください。
9. 写真やVTRの撮影には許可が必要です。身分証などを提示していただき確認の上許可証を発行いたしますので、常時携帯の上撮影行為をおこなってください。なお、本来の目的と違う形での映像使用は処罰の対象となります。この趣旨をご理解いただき、不審な撮影者等を発見した場合は大会運営側に通報していただけますようご協力お願い致します。また、一般のかたの場内の電源コンセント使用はできません。チーム使用のVTRバッテリーの充電などは出来ませんのでご注意ください。  
※監督、コーチ、選手のADカードをお持ちの方は撮影許可証は必要ありません。
10. ケガ・病気等の場合、会場内の救護室で応急の処置は致しますが、最終的な診断はできかねますので、救急車の要請ということになります。事後の措置については当該チームで対処して下さい。
11. 1階出入り口は一般公開の方専用です。大会関係者は2階入り口を使用してください。1階ロビーも立入禁止です。  
※サブプールは一般利用客専用です。水球関係者は使用しないでください。
12. ギャラリーにある水泳場の備品や設備（床置型ファンコイル、非常口扉の鍵カバー、時計、ゲート案内板、排煙口ハンドル等）に手を触れないでください。特に床置型ファンコイルの通風口が割れやすいので、荷物等は置かないでください。

13. 駐車場の収容台数が少ないため、公共交通機関をご利用ください。マイクロバス等は駐車場所がありません。回送して頂くことになります。なお、周辺路上・公園等は駐車禁止です。絶対に路上駐車をしないでください。

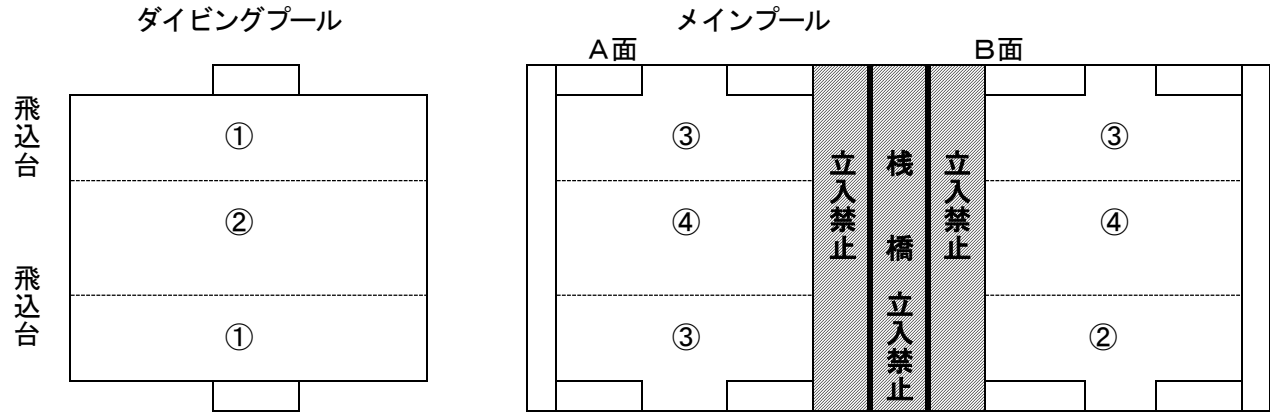
<ゲーム中のアップについて>

[26日]

- ・13：30まではフリー。以降は下記のとおり。

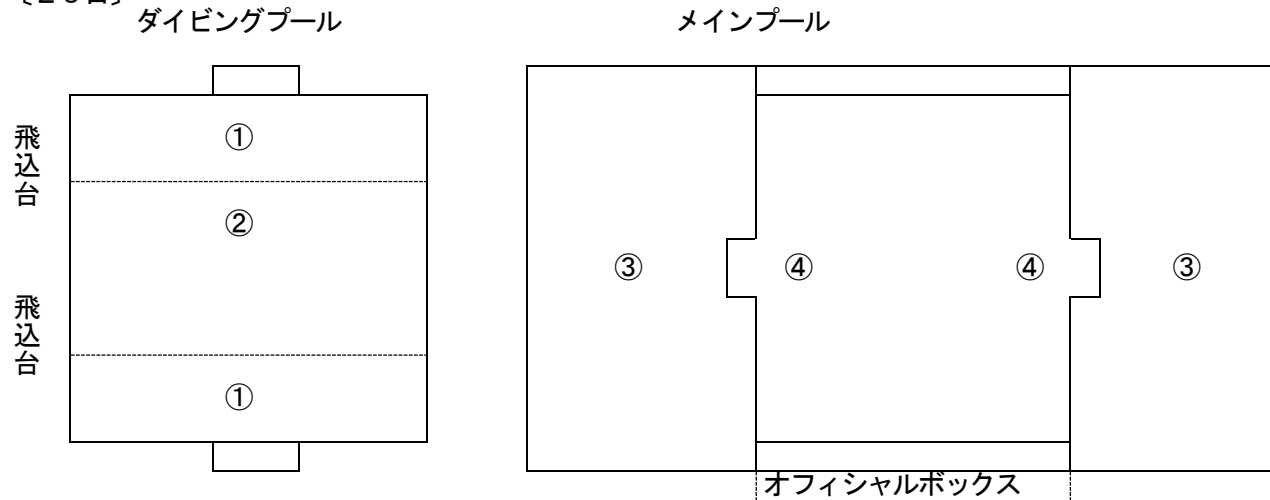
[26日～28日]

- ・アップは試合間、インターバルのみ。



- ①：ダイビングプールの次の試合のチーム（インターバル中のみ）
- ②：ダイビングプールの2試合後のチーム（インターバル中のみ）
- ③：A面、B面それぞれの次の試合のチーム（インターバル中のみ）
- ④：A面、B面それぞれの2試合後のチーム（インターバル中のみ）

[29日]



- ①：ダイビングプールの次の試合のチーム（インターバル中のみ）
  - ②：ダイビングプールの2試合後のチーム（インターバル中のみ）
  - ③：全区分の次の試合、2試合後のチーム ※スィムのみ、次の試合のチーム優先。
  - ④：メインプールの次の試合のチーム（インターバル中のみ）
- ※ダイビングプールでの試合中のアップはできません。

[30日]

- ・メインプールはアップ禁止。アップは全てダイビングプールで行ってください。使用方法は30日までの①、②に準じます。

<表彰および閉会式について>

- ・今大会の表彰は試合終了後直ちに行います。したがって、3位決定戦終了後、3・4位の表彰、決勝戦終了後、優勝・準優勝の表彰を行います。
- ・ベスト13の表彰は、A、C、E区分をA区分決勝後、B、D区分のベスト13をD区分決勝終了後に行います。

以上、ご健闘をお祈りいたします。